

はじめに

西東京市は、平成13年1月21日、21世紀最初の合併により誕生し、平成16年1月21日に3周年を迎えました。

合併から4年目を迎える本年は、真の西東京市を構築し、全国にメッセージを発信する地方自治体を目指すスタートの年と認識しております。そのための重要な役割を担うものが新市になって初めて策定された「西東京市基本構想・基本計画」であります。



「西東京市地域福祉計画」は、この「西東京市基本構想・基本計画」を上位計画とし、関連計画との整合性を図りながら策定した、地域福祉を総合的かつ計画的に推進していくための計画です。計画策定にあたっては、市民、関係機関、関係団体、学識経験者によって構成された策定組織で検討を重ねました。また、計画策定の過程では、パブリックコメント（市民意見提出手続き）の実施や市民説明会の開催を行うなど、さまざまな市民参加の手法を取り入れており、まさに、市民が主体となつてつくった計画であると自負しております。

また、この計画の大きな特徴として、市民、事業者、社会福祉協議会、行政の役割を明確にし、それぞれの取り組みを「～します」というように主体的な表現にしました。そこで、計画づくりに参加していない市民、事業者の皆様にも、この計画をご覧になって「自分たちは～をするんだ」という強い意識を持っていたできれば幸いと考えております。

今後は、この計画の理念である「一人のために みんなのために できることからはじめよう」、「声をかけあい 手をつなぎ 一人ひとりがよりよく生きる ほっとするまち」の実現に向けて、市民の皆様により一層のご理解とご協力をお願いしたいと思っております。

なお、この計画の策定にあたり、ご協力をいただきました市民の皆様をはじめ、関係機関、関係団体の方々に、心より感謝申し上げます。

平成16年3月

西東京市長

保谷高範